

令和8年度

# 運営に関する計画

校 訓

明るく 正しく 根気よく

学校教育目標

豊かな心を持ち、たくましく  
生きる子どもを育てる

令和8年4月

大阪市立豊崎東小学校

## 大阪市立豊崎東小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

## 1 学校運営の年度目標

**現状と課題**

令和7年度「運営に関する計画」最終評価から、本校の現状と課題を以下のようにとらえた。

全教職員が平素より児童に寄り添う教育実践に努めてきた結果、学校が楽しいと感じている児童が多く（校内児童アンケートの「学校へ来るのが、楽しい」の項目で87%以上が肯定的な回答）、いじめや不登校は少なく、安全・安心な教育活動に取り組むことができている。一方で、自己肯定感の向上は十分とは言えず（「自分には、よいところがある」の項目で肯定的な回答が81%以下）、本校の長年の課題である。

学力面においては、全国学力学習状況調査や大阪市小学校学力経年調査の結果分析から、国語・算数・英語科においてほとんどの学年で全国・大阪市平均を上回っているものの、社会・理科では大阪市平均を下回っている学年もある。少人数・習熟度別学習やTTで一定の成果が出ているものの、今後も授業改善をはじめとする様々な取り組みが必要である。基礎学力の定着に課題がある児童も多く、学年間の系統を意識した基礎学力向上の継続的な取り組みは重要である。

体力面においては、授業や休み時間に運動意欲を高められるよう様々な活動に取り組んできた結果、多くの児童に運動意欲の向上（校内児童アンケート「運動やスポーツをすることが好きだ」の項目で肯定的な回答が84%以上）が見られた。一方、全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点で、全国・大阪市平均より低かった。今後とも児童の運動能力、運動習慣を高める取り組みを進めていく必要がある。

ICTの活用に関しては、全学年で取り組みを進めており、学習者用端末の利用状況の月間達成率は向上しているものの、大阪市の掲げる目標は達成できていない。学級間・学年間で取り組み頻度のばらつきがみられ、学校全体でより効果的な活用を図ることが必要である。

**「大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標****【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】****・基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現**

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

**・基本的な方向2 豊かな心の育成**

- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

## 【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

### ・ 基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上

- 小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 78%以上にする。

### ・ 基本的な方向 5 健やかな体の育成

- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。

## 【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】

### ・ 基本的な方向 6 教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

- 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を 62%以上にする。

### ・ 基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり

- 時間外勤務時間について、月 100 時間以上実施する教員をゼロにする。

### ・ 基本的な方向 8 生涯学習の支援

- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。。

### ・ 基本的な方向 9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進

- 保護者アンケート「学校は、学校だよりや学年だよりを通して、学校や学年の情報がわかるよう工夫している」「学校は、ホームページやミマモルメを活用して、学校の情報や子どもたちの様子等を発信している」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を前年度より増加させる。

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した  
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <p><b>・基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。 (昨年度 77.9%)</li> <li>○ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</li> </ul> <p><b>・基本的な方向2 豊かな心の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。 (昨年度 77.5%)</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p><b>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめ及びいのちについて考える日」をはじめとして、「いじめを絶対に許さない」を共通認識のもと、児童が安心できる環境づくりを行う。</li> <li>・スクリーニング会議ⅠやⅡなどを活用し、課題の大きな児童についての情報を共有した上で対応できるような体制を整える。</li> </ul>	
<p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学期に1回以上、教育活動と関連付けて、各学級で「いじめやいのち」について、児童と共に考える場を設ける。(6月・11月・2月)</li> <li>・学期に1回、児童理解研修会を実施する。</li> <li>・校内調査において、「学校に来るのが楽しい。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。(昨年度 87.1%)</li> </ul>	
<p><b>取組内容②【基本的な方向1 安全安心な教育環境の実現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校児童を新たに増やさないことや、不登校傾向の児童が学校と繋がることで前向きに生活できる環境づくりを行う。</li> <li>・課題の大きい児童や情報の共有をすべき児童について、教職員が共通理解した上で対応できるような体制を整える。</li> <li>・必要に応じて、関係諸機関と連携を行う。</li> </ul>	

<p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめアンケート」を実施した後、いじめが「続いている」と答えた児童に対して個別面談を学期に1回以上実施する。</li> <li>・理由が曖昧な欠席が2日間続いた場合は、必ず家庭連絡を実施する。</li> <li>・不登校傾向の児童には、週に1回以上家庭連絡や家庭訪問を行う。</li> <li>・不登校児童の改善の割合を、前年度より増加させる。</li> </ul>	
<p><b>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エビデンスベースの学校改革に取り組み、様々な教育活動時においてポジティブ行動支援を行い、児童一人一人の自尊感情を向上させていく。</li> <li>・各教科・領域、学級活動や学校行事、異学年交流を通して、自己肯定感を育むための取り組み・実践を充実させていく。</li> </ul>	
<p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たてわり班活動、児童集会、学年での取り組みなど、異学年交流を、月に2回以上実施する。</li> <li>・校内調査において、「自分にはよいところがある。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。（昨年度 80.5%）</li> </ul>	
<p><b>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</b></p>	
<p>【年度目標】について</p>    <p>【取組の進捗状況】について</p>	
<p><b>最終評価への改善点</b></p>	
<p>【目標設定】について</p>	

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p><b>・基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上</b></p> <p>○ 小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。 (昨年度 77.18%)</p> <p><b>・基本的な方向5 健やかな体の育成</b></p> <p>○ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。 (昨年度 84.15%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</b></p> <p>・国語科において見通しをもって単元構成を行い、読む機会を増やして児童の意欲を高める。</p>	
<p><b>指標</b></p> <p>・学習内容と関連のある文章を月1回以上読み、多様な文章にふれる。 (低学年 絵本 中学年 図鑑 高学年 新聞 等)</p> <p>・児童アンケート「読んでいて分からなくなったときは、もう一度読み直していますか。」の肯定的な回答率を83%以上にする。(昨年度 82.5%)</p>	
<p><b>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</b></p> <p>・算数科における授業形態の工夫を通して、基礎基本の学力の定着を図る。</p>	
<p><b>指標</b></p> <p>・各学級の実態に応じて、算数科の学習において多様な授業形態を学期に複数回取り入れる。(R7 算数科で3～6年生において習熟度・少人数指導実施済み)</p> <p>・朝学習の時間に週1回以上、算数科の課題に取り組む。</p>	
<p><b>取組内容③【基本的な方向 誰一人取り残さない学力の向上】</b></p> <p>・授業の中で学級の友だちと話し合う活動を取り入れ、自分の考えを伝えたり、友だちの考えを聞いたりする時間をつくる。</p>	

<p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科や活動の中で、ペアやグループ、学級全体など、様々な形態の話し合い活動を1日1回取り組む。</li> <li>・児童アンケート「学級の友だちと話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができる。」の肯定的な回答率を82%以上にする。 (昨年度 80.4%)</li> </ul>	
<p><b>取組内容 【基本的な方向 健やかな体の育成】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の体力・運動能力向上に向けて、授業や休み時間に児童が運動意欲を高められる活動を実施する。</li> </ul>	
<p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年に3回の体力向上週間を設定する。</li> <li>・自分の目標を明確にするために、副読本やがんばりカードを活用する。</li> <li>・児童アンケート「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きだ。」の肯定的な回答率を85%以上にする。(昨年度 84.7%)</li> </ul>	
<p><b>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</b></p>	
<p>【年度目標】について</p>  <p>【取組の進捗状況】について</p>	
<p><b>最終評価への改善点</b></p>	
<p>【目標設定】について</p>	

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p><b>・基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進</b></p> <p>○ 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を60%以上にする。 (昨年度 61.75%)</p> <p><b>・基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり</b></p> <p>○ 時間外勤務時間について、月100時間以上実施する教員をゼロにする。</p> <p><b>・基本的な方向8 生涯学習の支援</b></p> <p>○ 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。 (昨年度 71.5%)</p> <p><b>・基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進</b></p> <p>○ 保護者アンケート「学校は、学校だよりや学年だよりを通して、学校や学年の情報がわかるよう工夫している」「学校は、ホームページやミマモルメを活用して、学校の情報や子どもたちの様子等を発信している」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を前年度より増加させる。 (昨年度 90.9%、87.4%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</b></p> <p>・学習者用端末を活用しやすくするために、教職員へ学習者用端末の活用方法や新機能を周知していくとともに、児童のタイピング能力の向上を図っていく。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p><b>指標</b></p> <p>・ICT研修を年に3回以上実施する。</p> <p>・タイピングに関するイベントに参加する。</p>	
<p><b>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b></p> <p>・時間外勤務状況調査において月100時間を超える教職員をなくすため、会議や研修等を計画的に効率よく行うことができるよう、内容を精選していく。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p><b>指標</b></p> <p>・基本的に〔午後6時30分セット〕ゆとりの日〔午後6時セット厳守〕を、5月連休明けより実施する。</p>	

